

3. 2024年度「人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的」と「学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)」、「教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)」

薬学研究科

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

薬学研究科では、医療科学・生命科学分野を担う人材を必要とする社会的要請に応えるため、高い倫理観と先端的で高度な専門的知識・技能を備えた生命科学・創薬科学分野における研究者・技術者の育成、薬剤師の資格を持って臨床薬学教育・研究が遂行できる人材、ならびに専門薬剤師の育成を目的とします。そのための教育研究上の目的は、

(1) 高い倫理観と薬学関連分野の幅広い知識を修得させる教育の展開、(2) 専門領域における最先端の知識・技能と国際的な発信能力を修得させる教育の推進とします。

(2) 学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

薬学研究科では、医療科学・生命科学分野を担う人材を必要とする社会的要請に応えるため、高い倫理観と先端的で高度な専門的知識・技能を備えた生命科学・創薬科学分野における研究者・技術者の育成、薬剤師の資格を持って臨床薬学教育・研究が遂行できる人材、ならびに専門薬剤師の育成を目的としています。

こうした人材を育成するために、以下の資質・能力を修得した者に学位を授与します。

- (1) 高い倫理観と薬学関連分野の幅広い知識
- (2) 専門領域における最先端の知識・技能と国際的な発信能力

(3) 教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)

薬学研究科では、学位授与方針を達成できるよう、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施しています。

- (1) 高い倫理観と薬学関連分野の幅広い知識を修得させる教育を展開します。
- (2) 専門領域における最先端の知識・技能と国際的な発信能力を修得させる教育を推進します。

学修成果の評価は、シラバスに明示された教育方法、評価方法に基づき、論文・文献の理解度、レポート、論文発表内容及び討論内容、研究成果等により行います。

薬学専攻(博士課程)

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

薬学研究科薬学専攻(博士課程)では、高い倫理観を持ち医療薬学分野における最新の専門的知識・技能・態度を備えた薬剤師で、医療現場から求められる問題の解決や医薬品の適正使用を中心に、先端的で高度な研究を企画・遂行できる研究者、さらに高度な先端医療を担い教育指導できる人材の育成を目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1) 医療人としての強い責任感と高い倫理性から研究を見つめる能力の修得を目指した教育の推進、(2) 薬学関連分野の幅広い知識を修得させる教育の展開、(3) 課題発見能力と問題解決能力を修得させる教育の推進、(4) 国際的な視野を涵養する教育の展開とします。

(2) 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

薬学研究科薬学専攻（博士課程）では、高い倫理観を持ち医療薬学分野における最新の専門的知識・技能・態度を備えた薬剤師で、医療現場から求められる問題の解決や医薬品の適正使用を中心に、先端的で高度な研究を企画・遂行できる研究者、さらに高度な先端医療を担い教育指導できる人材の育成を目的としています。

こうした人材を育成するために、以下の資質・能力を修得した者に学位を授与します。

- (1) 医療人かつ研究者としての強い責任感と高い倫理性から研究を見つめる能力
- (2) 医療薬学関連分野における最新の極めて高度な専門的知識・技能
- (3) 医療薬学関連分野における先端的で高度な研究を企画・遂行・考察する能力
- (4) 医療の現場で求められる課題を自ら発見し、独創的な発想をもって問題を解決する能力
- (5) 医療の現場において国際的な視野をもって活躍する能力
- (6) 高度な先端医療を担い教育指導する能力

(3) 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

薬学研究科薬学専攻（博士課程）では、学位授与方針を達成できるよう、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施しています。

- (1) 「特別講義科目」では、臨床薬学分野における幅広い知識を身につけるための科目を配置します。
- (2) 「専門科目」では、自立した研究者として必要な最新の専門的知識を涵養するために臨床現場に直結した科目を配置します。
- (3) 「特別演習」と「特別研究」では、臨床薬学・医療薬学に関する豊富な演習・研究を通して課題発見能力と問題解決能力を高め、医療人としての強い責任感と高い倫理性を有し、国際的な視野をもって活躍できる研究者や高度職業人を育成するための教育を行います。
学修成果の評価は、シラバスに明示された教育方法、評価方法に基づき、論文・文献の理解度、レポート、論文発表内容及び討論内容、研究成果等により行います。

薬科学専攻（修士／博士後期課程）

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

薬学研究科薬科学専攻（修士/博士後期課程）では、高い倫理観と先端的で高度な専門的知識・技能を備えた生命科学・創薬科学分野における研究者、技術者および教育者の育成、臨床試験データを解析し、かつ臨床試験計画を立案できる研究者の育成、さらに戦略的かつ国際的な医薬品開発企画を立案できる人材の育成を目的とします。そのための教育研究上の目的は、(1) 高い倫理観と薬学関連分野の幅広い知識を修得させる教育の推進、(2) 専門領域における最先端の知識・技能の修得を目指した教育の推進、(3) 豊富な演習・研究を通じた柔軟で論理的な思考力と表現力を養成する教育の展開、(4) 国際的な視野を涵養する教育の展開とします。

(2) 学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)

《修士課程》

薬学研究科薬科学専攻(修士課程)では、高い倫理観と先端的で高度な専門的知識・技能を備えた生命科学・創薬科学分野における人材(研究者、技術者および教育者)の育成、臨床試験データを解析し、かつ臨床試験計画を立案できる人材(研究者)の育成、さらに戦略的かつ国際的な医薬品開発企画を立案できる人材の育成を目的としています。

こうした人材を育成するために、以下の資質・能力を修得した者に対して、学位を授与します。

- (1) 薬学関連領域における技術者あるいは専門家としての高い倫理観
- (2) 専門領域における幅広い専門的知識・技能
- (3) 科学的・論理的な思考力と表現力
- (4) 薬学関連領域における技術者あるいは専門家としての研究能力
- (5) 専門的知識・研究能力をもとに自ら課題を発見し、問題を解決する能力

《博士後期課程》

薬学研究科薬科学専攻(博士後期課程)では、高い倫理観と先端的で高度な専門的知識・技能を備えた生命科学・創薬科学分野における人材(研究者、技術者および教育者)の育成、臨床試験データを解析し、かつ臨床試験計画を立案できる人材(研究者)の育成、さらに戦略的かつ国際的な医薬品開発企画を立案できる人材の育成を目的としています。

こうした人材を育成するために、以下の資質・能力を修得した者に学位を授与します。

- (1) 研究者としての強い責任感と高い倫理性から研究を見つめる能力
- (2) 専門領域における最先端の知識・技能
- (3) 研究者として自立して研究を企画・遂行・考察する能力
- (4) 柔軟で論理的な思考力に基づいて、課題を自ら発見し、独創的な発想をもって問題を解決する能力
- (5) 専門分野において国際的な視野をもって活躍する能力
- (6) 高度な先端的研究を担い教育指導する能力

(3) 教育課程の編成・実施方針 (カリキュラム・ポリシー)

《修士課程》

薬学研究科薬科学専攻(修士課程)では、学位授与方針を達成できるよう、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施しています。

- (1) 「特論科目」として、薬学関連分野の幅広い知識・技能を修得できるように、国内外の第一線で活躍する講師を交えて、薬学関連の多岐にわたる分野の科目を配置します。
- (2) 豊富な演習・実験を通して、課題発見能力と問題解決能力を高め、論理的な思考力、コミュニケーション能力、倫理観と表現力を身につけるために「演習」と「特別実験」を重点的に配置します。

学修成果の評価は、シラバスに明示された教育方法、評価方法に基づき、論文・文献の理解度、レポート、論文発表内容及び討論内容、研究成果等により行います。

《博士後期課程》

薬学研究科薬科学専攻(博士後期課程)では、学位授与方針を達成できるよう、以下の方針に基づき教育課程を編成・実施しています。

- (1) 「特別講義科目」では、専門分野における最先端で高度な知識・技能を修得するための科目を配置します。
- (2) 「専門科目」では、自立した研究者として必要な最新の専門的知識を涵養するための科目を配置します。
- (3) 「特別演習」と「特別研究」では、レベルの高い豊富な演習や質の高い研究を通して、課題発見能力と問題解決能力を高め、強い責任感と高い倫理性を有し、国際的な視野をもって活躍できる研究者を育成するための教育を行います。

学修成果の評価は、シラバスに明示された教育方法、評価方法に基づき、論文・文献の理解度、レポート、論文発表内容及び討論内容、研究成果等により行います。